

# 目次

はじめに .....	3
製品の呼び方 .....	3
本文中の記号 .....	3
CELSIUS マニュアルの参照 .....	3
BIOS 設定の表記 .....	4
<b>1 ソフトウェアについて .....</b>	<b>5</b>
ドライバについて .....	5
アプリケーションについて .....	5
<b>2 スマートカードについて .....</b>	<b>6</b>
<b>3 スマートカードによる BIOS ロックの設定 .....</b>	<b>7</b>
注意 .....	7
設定方法 .....	8
<b>4 注意事項 .....</b>	<b>24</b>



## はじめに

このたびは、スマートカードリーダー／ライターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書は、スマートカードリーダー／ライター（以下、本製品）の取り扱いの基本的なことについて説明しています。ご使用になる前にワークステーション本体の『CELSIUS マニュアル』および本書、特に「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解した上で正しい取り扱いをされますようお願いいたします。また、本書は大切に保管してください。

2003 年 10 月



## 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記	
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP	Windows
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000	

## 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 <b>重要</b>	お使いになる際の注意点やしてはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 <b>POINT</b>	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

## CELSIUS マニュアルの参照

機器の取り付け、ソフトウェア、トラブルシューティング、およびカスタムメイドオプションなどの内容は、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET (<http://www.fmworld.net/biz/>) 内の『CELSIUS マニュアル』に記載されています。

『CELSIUS マニュアル』は、「スタート」ボタン→「(すべての) プログラム」→「CELSIUS マニュアル」から参照してください。

# BIOS 設定の表記

本文中の BIOS 設定手順において、各メニューやサブメニューまたは項目を、「ー」（ハイフン）でつなげて記述する場合があります。また、設定値を「:」（コロン）の後に記述する場合があります。

例: 「Security」の「SmartCard SystemLock」の項目を「Disabled」に設定します。



「Security」ー「SmartCard SystemLock」: Disabled

## 保証について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、フロッピーディスクなどに複写して、保管しておいてください。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後5年です。
- 本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。
- ワークステーション本体および周辺機器は日本国内仕様であり、海外での保守サービスおよび技術サポートは行っておりません。
- 本製品に関するお問い合わせは、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

## 本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2003

# 1 ソフトウェアについて

---

本製品を使用するには、ドライバとアプリケーションソフトが必要です。

---

## ドライバについて

---

本製品のドライバは、ワークステーションのご購入時にインストールされています。ハードディスクをご購入時の状態に戻した後は、インストールされない場合があります。デバイスマネージャの「スマートカード読み取り装置」に「Fujitsu Siemens USB Smartcard Reader」と表示されていない場合は、「ドライバーズ CD」からインストールしてください。

ドライバをインストールする場合は、「ドライバーズ CD」内の「Indexed.htm」でフォルダ名称を確認し、フォルダ内の「readme.txt」をご覧ください。

### 重要

- ▶ ドライバのインストール後、ワークステーション本体を再起動しても本製品をお使いにならない場合は、「ドライバの更新」を行ってから再起動してください。再起動しないで使用すると、デバイスマネージャに「！」が表示され、正常に動作しない場合があります。

---

## アプリケーションについて

---

本製品のアプリケーションは、ワークステーションのご購入時にはインストールされていません。ワークステーション本体のセットアップ後、本製品に添付の CD-ROM にあるオンラインマニュアルをご覧になり、インストールしてください。

また、ハードディスクをご購入時の状態に戻した後も、同様にインストールしてください。

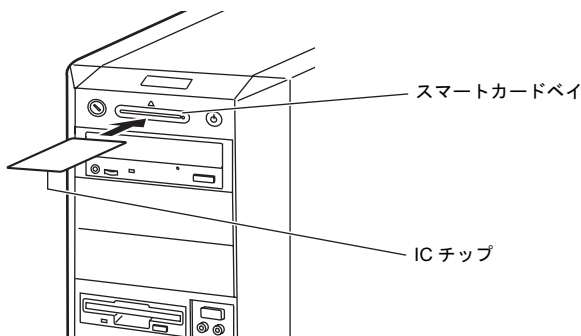
## 2 スマートカードについて

- ・スマートカードはICチップ面を下にして、奥までゆっくり差し込んでください。

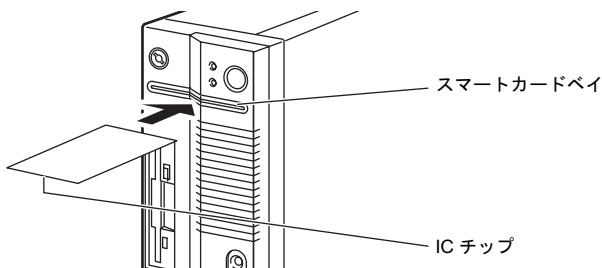
### POINT

- ▶ 本製品では、スマートカードを差し込むことによりワークステーションの電源を入れたり、スタンバイ状態や休止状態からレジャームさせることができます。  
ただし、ワークステーションの設定や、電源を切った状態によっては、電源が入らない場合があります。詳しくは、「注意事項」(→ P.24)をご覧ください。

CELSIUS M410 / M420



CELSIUS J320



- ・スマートカードを使用するときは、次の点に注意してください。
  - 折り曲げたり、汚したり、濡らしたりしないでください。
  - 磁石などの磁気を帯びたものを近づけないでください。
  - 電気を帯びたものを上に載せたり、近くで静電気を発生させたりしないでください。
  - 高温の場所に保管しないでください。
  - カードに衝撃を与えないでください。
- ・スマートカードをご購入の際は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

# 3 スマートカードによる BIOS ロックの設定

---

CELSIUS M420 では、BIOS とスマートカードを使ったセキュリティ機能（BIOS ロック機能）をお使いになることができます。

BIOS ロック機能をお使いになるには、ワークステーション本体の BIOS 設定を変更する必要があります。次の注意を参照し、正しく設定してください。

---

## 注意

---

- ・ 本機能は、CELSIUS M420 でのみ使用できます。
- ・ BIOS の設定を変更する前に、スマートカードに BIOS ロック用パスワードを登録してください。
- ・ 登録方法は、添付のアプリケーション SMARTACCESS/BASE 内にあるオンラインマニュアルの「第 11 章 スマートカードを管理する」の「BIOS ロック用パスワードを登録する」をご覧ください。
- ・ BIOS ロック用パスワードを登録せずに本設定を行うと、本ワークステーションが起動できなくなります。
- ・ BIOS ロック用パスワードでお使いになれる文字は、半角英数字（a～z、A～Z、0～9）のみで、大文字・小文字が区別されます。
- ・ 半角英数字以外の文字をお使いになると、本ワークステーションが起動できなくなります。
- ・ ユーザー用パスワード設定は、管理者用パスワード設定がされていないと行えません。
- ・ BIOS でロックをかけるときには、1 枚のカードに 1 つのパスワードしか設定できません。
- ・ BIOS でロックをかけるスマートカードは、利用者がオンラインマニュアルに従って作成してください。また、複数のスマートカードをお使いになる場合、管理者用スマートカードを作成してから、ユーザー用スマートカードを作成してください。
- ・ BIOS のパスワードと BIOS ロック用パスワードとの併用はできません。BIOS の設定を変更する前に、BIOS のパスワードが設定されていない状態にしてください。

# 設定方法

## 重要

- ▶ BIOS ロック機能を利用するときは、必ず次の手順に従って設定し、運用してください。間違った手順や入力を行うと、BIOS ロック機能を利用できなくなったり、BIOS ロックが知らないうちに機能してしまい、システムが起動できなくなったりします。この場合、修理が必要となりますので、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。なお、保証期間にかかわらず、修理は有償となります。

## ■ スマートカードの準備

「SMARTACCESS/BASE V2.0L40」を使って、BIOS ロック用スマートカードの準備をします。オンラインマニュアル「SMARTACCESS/BASE V2.0L40 説明書」の「11.1.3 BIOS ロック用パスワードを登録する」に従って、BIOS のログオン情報の登録をしてください。なお、あらかじめ複数のカードを使用することが分かっている場合は、ここで枚数分の登録を行ってください。

## □ BIOS のログオン情報登録の手順（詳細はオンラインマニュアルをご覧ください。）

スマートカードメンテナンスツール起動 → 利用者用 PIN 入力 → ログオン情報登録 → ログオンシステム名：BIOS 選択 → BIOS ロック用パスワード入力（注 1）

- （注 1） BIOS のログオン情報登録では「BIOS ロック用パスワード」を入力する必要がありますが、CELSIUS M420 の BIOS ロック機能では使用しません。

## 重要

- ▶ 「SMARTACCESS/BASE」で用いられる用語、管理者用 PIN（Personal Identification Number）および利用者用 PIN は、次の BIOS ロック機能では、PUK（Personal Unblocking Key）および PIN という用語を使用します。
  - 管理者用 PIN → PUK
  - 利用者用 PIN → PIN
- ▶ 「SMARTACCESS/BASE」で管理者用 PIN および利用者用 PIN を変更する場合は、4～8 桁の半角英数字を使用してください。
- ▶ スマートカードに BIOS ログオン情報の登録が行われないと、次の「BIOS ロック機能を使用するワークステーション（1 台目）の設定」ができませんので、注意してください。




## ■ BIOS ロック機能を使用するワークステーション（1 台目）の設定

BIOS ロック機能を使用するワークステーション(1 台目)に対して次の設定をしてください。

### □ BIOS セットアップの設定

- 1 ワークステーションを再起動します。
- 2 「CELSIUS」のロゴが表示されている間に、【F2】キーを押します。  
BIOS セットアップ画面が表示されます。
- 3 「Security」－「SmartCard SystemLock」を「Enabled」に設定します。
- 4 「Exit」－「Save Changes & Exit」を実行します。  
ワークステーションが再起動します。

### □ 管理者（Administrator）用カードの登録

- 1 ワークステーションを起動します。  
CELSIUS ロゴ画面が表示された後、次のメッセージが表示されます。  
SmartCard security installation  
Select SystemLock mode: F1=Single PC, F3=Group PC, ESC=Abort  
 **POINT**  
▶ このメッセージは 3 秒ほどしか表示されません。表示が確認できず、システムが起動してしまった場合は、再起動し、確認してください。
- 2 【F1】キーを押します。  
次のメッセージが表示されます。  
Installing SystemLock ...  
Insert a SmartCard.
- 3 「スマートカードの準備」で用意したスマートカードを挿入します。  
次のメッセージが表示されます。  
ACCESS DENIED.  
Enter the PUK:

## 4 PUK を入力します。

次のどちらかのメッセージが表示されます。

- ・ PUK OK : PUK が正しく入力された場合に表示されます。操作を続けてください。
- ・ ACCESS DENIED : 入力した PUK が間違っている場合に表示されます。正しく PUK を入れ直してください。

### 重要

- ▶ PUK を連続 15 回間違えると、スマートカードはブロックされ、そのカードがご使用になれなくなりますので、ご注意ください。

### POINT

- ▶ PUK は、「スマートカードの準備」で使用したアプリケーション「SMARTACCESS/BASE」では、管理者用 PIN と呼ばれていたものです。

正しく PUK が入力されると、次のメッセージが表示され、PUK の変更をします。

Enter the new PUK:

## 5 新しい PUK を入力します。

### POINT

- ▶ PUK には、4～8 桁の半角英数字を使用してください。セキュリティ上の理由から、PUK を変更し、8 桁の英数字を使用することを推奨します。
- ▶ 「スマートカードの準備」(→ P.8) で「SMARTACCESS/BASE」を使い、管理者用 PIN (PUK) を変更した場合は、ここで、PUK を変更する必要はありません。同じ PUK を入力してください。

PUK を入力すると、次のメッセージが表示されます。

Confirm the new PUK:

## 6 再度 PUK を入力します。

PUK を入力すると、次のどちらかのメッセージが表示されます。

- ・ NEW PUK OK : PUK が正しく入力された場合に表示されます。操作を続けてください。
- ・ NEW PUK FAILED : 入力した PUK が間違っている場合に表示されます。正しく PUK を入れ直してください。

### 重要

- ▶ PUK を忘れると、そのスマートカードを使用できなくなるだけでなく、BIOS ロックによりパソコンを起動できなくなりますので、忘れないように注意してください。ただし、セキュリティ上、スマートカードには PUK をメモしないでください。

正しく PUK が入力されると、次のメッセージが表示されます。

Enter your new PIN:

## 7 新しい PIN を入力します。

### POINT

- ▶ PIN には、4 ～ 8 桁の半角英数字を使用してください。セキュリティ上の理由から、PIN を変更し、8 桁の英数字を使用することを推奨します。
- ▶ PIN は、「スマートカードの準備」で使用したアプリケーション「SMARTACCESS/BASE」では、利用者用 PIN と呼ばれていたものです。「SMARTACCESS/BASE」を使い、利用者用 PIN (PIN) を変更した場合は、ここで PIN を変更する必要はありません。

PIN を入力すると、次のメッセージが表示されます。

Confirm your new PIN:

## 8 再度、PIN を入力します。

PIN を入力すると、次のどちらかのメッセージが表示されます。

- ・ NEW PIN OK : PIN が正しく入力された場合に表示されます。操作を続けてください。
- ・ NEW PIN FAILED : 入力した PIN が間違っている場合に表示されます。正しく PIN を入れ直してください。

正しく PIN が入力されると、次のメッセージが表示されます。

Initialize another SmartCard or press ESC to abort.

F5=User, F6=SuperUser, F7=Admin, F8=Service, F9=Unblock, F10=Uninstall

## 9 スマートカードを抜いた後、電源ボタンを押してワークステーションの電源を切ってください。

### 重要

- ▶ ここで使用したスマートカードには“管理者用”などと記入し、管理者用カードであることが分かるようにし、大切に保管してください。トラブル復旧時や、各種設定時に必要になります。

以上で BIOS ロック機能を使用するワークステーション (1 台目) の設定が完了しました。引き続き、使用目的に応じて別のスマートカードを作成してください。詳しくは「用途別スマートカードの発行」(→ P.12) をご覧ください。

## ■用途別スマートカードの発行

ワークステーション利用者の用途に合わせ、ワークステーションのアクセス権限が異なるスマートカードを発行することができます。アクセス権限の違いによってスマートカードは4種類に分類されます。

- ・ **ユーザー（User）用スマートカード：**

システムの起動が許可されたスマートカード

- ・ **スーパーユーザー（Super User）用スマートカード：**

システムの起動、BIOS セットアップの起動が許可されたスマートカード

- ・ **サービス（Service）用スマートカード：**

BIOS セットアップの起動が許可されたスマートカード

- ・ **管理者（Administrator）用スマートカード：**

システムの起動、BIOS セットアップの起動、用途別スマートカードの発行、全種類のスマートカードに対する PIN のブロック解除、BIOS ロック機能設定のアンインストールが許可されたスマートカード

次の表は、スマートカードの種類、システムのアクセス権限、アクセスに必要なキー（PIN または PUK）の関係を示します。

	スマートカードの種類							
	ユーザー用		スーパーユーザー用		サービス用		管理者用	
	PIN	PUK	PIN	PUK	PIN	PUK	PIN	PUK
システム起動	○		○				○	
BIOSセットアップの呼び出し			○		○		○	
PIN の変更	○		○		○		○	○
PIN のブロック解除 <sup>注1</sup>		○ <sup>注2</sup>		○ <sup>注2</sup>		○ <sup>注2</sup>		○
すべてのスマートカードの ブロック解除 <sup>注3</sup>								○
ユーザー用スマートカードの 発行								○
BIOS ロック機能の解除								○

注1：PIN を連続 15 回間違えて入力した場合、PUK を入力することでブロックを解除できます。

注2：BIOS セットアップで「Security」－「Unblock Own SmartCard」を「Enabled」に設定する必要があります。

注3：ユーザー用、スーパーユーザー用、サービス用、管理者用スマートカードの PIN のブロックを解除できます。

### 重要

▶ PUK がブロックされた場合は、管理者用カードを使用しても解除はできません。

## ■スマートカードの発行

利用したいアクセス権を持つスマートカードの種類を選択し、スマートカードの発行を行います。

**1 新しいスマートカードを用意し、「スマートカードの準備」に従い、BIOS ログオン情報の登録をしてください。**

**2 ワークステーション（1 台目）を起動します。**

CELSIUS ログ画面が表示された後、次のメッセージが表示されます。

Insert a SmartCard.

**3 管理者（Administrator）用カードを挿入します。**

次のメッセージが表示されます。

Enter your PIN:

**4 PIN を入力します。**

PIN を入力すると、次のどちらかのメッセージが表示されます。

- ・ PIN OK : PIN が正しく入力された場合に表示されます。操作を続けてください。
- ・ ACCESS DENIED : 入力した PIN が間違っている場合に表示されます。正しく PIN を入れ直してください。



▶ PIN を連続 15 回間違えると、スマートカードはブロックされますので、ご注意ください。ブロックされた場合、「設定変更」の PIN のブロック解除に従って、ブロックを解除する必要があります。

正しく PIN が入力されると、画面下に次のメッセージが表示されます。

F2=Setup, F3=Change PIN, F4=Administration



▶ このメッセージは 3 秒ほどしか表示されません。表示が確認できず、システムが起動してしまった場合は、再起動し、確認してください。

**5 【F4】 キーを押します。**

次のメッセージが表示されます。

Enter the PUK:

**6 挿入した管理者用カードの PUK を入力します。**

PUK を入力すると、次のどちらかのメッセージが表示されます。

- ・ PUK OK : PUK が正しく入力された場合に表示されます。操作を続けてください。
- ・ ACCESS DENIED : 入力した PUK が間違っている場合に表示されます。正しく PUK を入れ直してください。

正しく PUK が入力されると、次のメッセージが表示されます。

Initialize another SmartCard or press ESC to abort.

F5=User, F6=SuperUser, F7=Admin, F8=Service, F9=Unblock, F10=Uninstall

## 7 作成したいスマートカードの種類に対応した【F5】、【F6】、【F7】、【F8】キーのいずれかを押します。

- ・【F5】：ユーザー（User）用スマートカード
- ・【F6】：スーパーユーザー（Super User）用スマートカード
- ・【F7】：管理者（Admin）用スマートカード
- ・【F8】：サービス（Service）用スマートカード

次のメッセージが表示されます。

Remove the SmartCard.

## 8 管理者用スマートカードを抜いた後、新しいスマートカードを挿入します。

次のメッセージが表示されます。

Enter the PUK:

### 重要

- ▶ 管理者用スマートカードを挿入したまま操作を進めると、管理者用スマートカードが別の種類のスマートカードに変更されてしまいます。用途別スマートカードの発行や、全種類のスマートカードに対する PIN のブロック解除、BIOS ロック機能のアンインストール等が実施できなくなりますので、必ず、新しいスマートカードを挿入してください。

### POINT

- ▶ ファンクションキーを押した後に次のメッセージが表示された場合は、新しいスマートカードを一度抜き、再び挿入してください。  
Remove the SmartCard.  
挿入後、“Enter the PUK:” というメッセージが表示されます。

## 9 PUK を入力します。

次のどちらかのメッセージが表示されます。

- ・ PUK OK : PUK が正しく入力された場合に表示されます。操作を続けてください。
- ・ ACCESS DENIED : 入力した PUK が間違っている場合に表示されます。

正しく PUK が入力されると、次のメッセージが表示され、PUK の変更が可能です。

Enter the new PUK

## 10 新しい PUK を入力します。

### POINT

- ▶ PUKには、4～8桁の半角英数字を使用してください。セキュリティ上の理由から、PUKを変更し、8桁の英数字を使用することを推奨します。
- ▶ 手順1でPUKを変更した場合は、ここで、PUKを変更する必要はありません。手順9で入力したPUKを入力してください。

PUK を入力すると、次のメッセージが表示されます。

Confirm the new PUK:

## 11 再度 PUK を入力します。

PUK を入力すると、次のどちらかのメッセージが表示されます。

- ・ NEW PUK OK : PUK が正しく入力された場合に表示されます。操作を続けてください。
- ・ NEW PUK FAILED : 入力した PUK が間違っている場合に表示されます。正しく PUK を入れ直してください。

正しく PUK が入力されると、次のメッセージが表示されます。

Enter your new PIN:

## 12 新しい PIN を入力します。

### POINT

- ▶ PIN には、4 ～ 8 桁の半角英数字を使用してください。セキュリティ上の理由から、8 桁の英数字を使用することを推奨します。
- ▶ 手順 1 で PIN を変更した場合は、ここで、PIN を変更する必要はありません。同じ PIN を入力してください。

PIN を入力すると、次のメッセージが表示されます。

Confirm your new PIN:

## 13 再度、PIN を入力します。

PIN を入力すると、次のどちらかのメッセージが表示されます。

- ・ NEW PIN OK : PIN が正しく入力された場合に表示されます。操作を続けてください。
- ・ NEW PIN FAILED : 入力した PIN が間違っている場合に表示されます。正しく PIN を入れ直してください。

正しく PIN が入力されると、次のメッセージが表示されます。

Initialize another SmartCard or press ESC to abort.

F5=User, F6=SuperUser, F7=Admin, F8=Service, F9=Unblock, F10=Uninstall

## 14 スマートカードを抜いてください。

このスマートカードが、選択したアクセス権を持つスマートカードになります。

### POINT

- ▶ カードの種類がわかるように、作成したスマートカードに“ユーザー用”、“スーパーユーザー用”、“管理者用”、“サービス用”などと記入することを推奨します。

## ■ BIOS ロック機能を使う

BIOS ロックは、BIOS がシステムの起動や BIOS セットアップの起動をロックする機能です。BIOS によってロックされたシステムや BIOS セットアップを起動するために、スマートカードを使用します。BIOS ロック機能の運用方法には 2 種類あります。1 枚のスマートカードによって 1 台のワークステーションを利用する運用方法（Single PC）と、1 枚のスマートカードによって複数のワークステーションを利用する運用方法（Group PC）です。用途に合わせ、運用方法を選択してください。

### □ 1 枚のスマートカードで、1 台のワークステーションを利用する（Single PC 運用）

1 枚のスマートカードで、「BIOS ロック機能を使用するワークステーション（1 台目）の設定」で設定したワークステーションを利用します。

## ■ 利用方法

### 1 本ワークステーションでアクセス権があるスマートカードを準備します。

#### 重要

- ▶ 「BIOS ロック機能を使用するワークステーション（1 台目）の設定」で作成した管理者用スマートカードを使用できますが、「用途別スマートカードの発行」の手順により別のカードを発行し、使用することを推奨します。

### 2 ワークステーションを起動します。

CELSIUS ロゴ画面が表示された後、次のメッセージが表示されます。

Insert a SmartCard.

### 3 スマートカードを挿入します。

次のメッセージが表示されます。

Enter your PIN:

### 4 PIN を入力します。

PIN を入力すると、次のどちらかのメッセージが表示されます。

- ・ PIN OK : PIN が正しく入力された場合に表示されます。
- ・ ACCESS DENIED : 入力した PIN が間違っている場合に表示されます。正しく PIN を入れ直してください。

#### 重要

- ▶ PIN を 15 回間違えると、スマートカードはブロックされますので、ご注意ください。ブロックされた場合は「設定変更」の PIN のブロック解除に従って、ブロックを解除する必要があります。



## 5 システム起動をしたい場合は、そのまま数秒待ってください。起動が開始されます。

BIOS セットアップを起動したい場合は、【F2】キーを押してください。

### POINT

▶ システムの起動やBIOSセットアップの起動には、それらのアクセス権を持つスマートカードを使用する必要があります。

### □ 1 枚のスマートカードで、複数のワークステーションを利用する (Group PC 運用)

1 つのスマートカードで複数のワークステーションの BIOS ロック機能を利用できるようになります。同じスマートカードで利用可能なワークステーション群を、ここではグループ PC と呼びます。

### POINT

▶ Group PC 運用を行うには、グループ PC のすべてが CELSIUS M420 である必要があります。

### ■ グループ PC (1 台目以外) の設定方法

Group PC 運用を行うためには、「BIOS ロック機能を使用するワークステーション (1 台目) の設定」で設定したワークステーション以外のワークステーションに設定をする必要があります。次に設定方法を説明します。

### 重要

▶ グループ PC の設定はワークステーション 1 台につき、1 回しか実施できません。グループ PC の解除後、再設定することはできませんので、ご注意ください。

- 1 「BIOS ロック機能を使用するワークステーション (1 台目) の設定」で設定したワークステーションとは違うワークステーション (CELSIUS M420 に限る) を再起動します。
- 2 「CELSIUS」のロゴが表示されている間に、【F2】キーを押します。  
BIOS セットアップ画面が表示されます。
- 3 「Security」－「SmartCard SystemLock」を「Enabled」に設定します。

## 4 「Exit」－「Save Changes & Exit」を実行します。

ワークステーションが再起動します。CELSIUS ログ画面が表示された後、次のメッセージが表示されます。

SmartCard security installation

Select SystemLock mode: F1=Single PC, F3=Group PC, ESC=Abort

### POINT

- ▶ このメッセージは 3 秒ほどしか表示されません。表示が確認できず、システムが起動してしまった場合は、再起動し、確認してください。

## 5 【F3】キーを押します。

次のメッセージが表示されます。

Installing SystemLock ...

Insert a SmartCard.

## 6 「BIOS ロック機能を使用するワークステーション（1 台目）の設定」で作成した管理者用スマートカードを挿入します。

次のメッセージが表示されます。

ACCESS DENIED.

Enter your PIN:

## 7 管理者用スマートカードの PIN を入力します。

次のどちらかのメッセージが表示されます。

- ・ PIN OK : PIN が正しく入力された場合に表示されます。操作を続けてください。
- ・ ACCESS DENIED : 入力した PIN が間違っている場合に表示されます。正しく PIN を入れ直してください。

正しく PIN が入力されると、次のメッセージが表示されます。

Enter the PUK:

## 8 管理者用スマートカードの PUK を入力します。

PUK を入力すると、次のどちらかのメッセージが表示されます。

- ・ PUK OK : PUK が正しく入力された場合に表示されます。操作を続けてください。
- ・ ACCESS DENIED : 入力した PUK が間違っている場合に表示されます。正しく PUK を入れ直してください。

正しく PUK が入力されると、PUK OK の下に次のメッセージが表示されます。

Initialize another SmartCard or press ESC to abort.

F5=User, F6=SuperUser, F7=Admin, F8=Service, F9=Unblock, F10=Uninstall

## 9 管理者用スマートカードを抜いた後、電源ボタンを押してワークステーションの電源を切ってください。

以上で、グループ PC の設定が完了しました。「BIOS ロック機能を使用するワークステーション（1 台目）の設定」で設定したワークステーションと同じセキュリティ環境で利用できます。

### ■利用方法

利用方法は、Single PC 運用と同じです。「1 枚のスマートカードで、1 台のワークステーションを利用する（Single PC 運用）」を参照してください。グループ PC を設定したワークステーションすべてで、同じように利用できます。

## ■ 設定変更

### □ PIN の変更

PIN は、「SMARTACCESS/BASE」または BIOS ロック機能を使用して、変更することが可能です。ここでは、BIOS ロック機能を使って、PIN を変更する方法を説明します。「SMARTACCESS/BASE」を使用する場合は、オンラインマニュアル「SMARTACCESS/BASE V2.0L40 説明書」の「11.2.1 PIN を変更する」を参照してください。

#### 1 ワークステーションを起動します。

CELSIUS ログ画面が表示された後、次のメッセージが表示されます。

Insert a SmartCard.

#### 2 PIN を変更したいスマートカードを挿入します。

次のメッセージが表示されます。

Enter your PIN:

#### 3 PIN を入力します。

正しく PIN を入力すると、画面下に次のメッセージが表示されます。

F3=Change PIN



▶ このメッセージは 3 秒ほどしか表示されません。表示が確認できず、システムが起動してしまった場合は、再起動し、確認してください。

#### 4 【F3】 キーを押します。

次のメッセージが表示されます。

Enter your new PIN:

#### 5 新しい PIN を入力します。

次のメッセージが表示されます。

Confirm your new PIN:

#### 6 再度、PIN を入力します。

PIN を入力すると、次のどちらかのメッセージが表示されます。

- ・ NEW PIN OK : PIN が正しく入力された場合に表示されます。
- ・ NEW PIN FAILED : 入力した PIN が間違っている場合に表示されます。正しく PIN を入れ直してください。

以上で PIN が変更されました。

## ■ PIN のブロック解除

15 回連続して間違った PIN を入力すると、そのスマートカードがブロックされ、使用できなくなります。ブロックされた場合、「SMARTACCESS/BASE」または、BIOS ブロック機能を使用することによって、ブロックを解除できます。ここでは、BIOS ブロック機能を使用してブロックを解除する方法を説明します。「SMARTACCESS/BASE」を使用する場合は、オンラインマニュアル「SMARTACCESS/BASE V2.0L40 説明書」の「11.2.3 利用者 PIN のロックを解除する」を参照してください。

### 1 ワークステーションを起動します。

CELSIUS ロゴ画面が表示された後、次のメッセージが表示されます。

Insert a SmartCard.

### 2 管理者用スマートカードを挿入します。

次のメッセージが表示されます。

Enter your PIN:

### 3 管理者用スマートカードの PIN を入力します。

正しく入力したら、画面下に次のメッセージが表示されます。

F2=Setup, F3=Change PIN, F4=Administration

### 4 【F4】 キーを押します。

次のメッセージが表示されます。

Enter the PUK:

### 5 管理者用スマートカードの PUK を入力します。

正しく PUK を入力すると、次のメッセージが表示されます。

Initialize another SmartCard or press ESC to abort.

F5=User, F6=SuperUser, F7=Admin, F8=Service, F9=Unblock, F10=Uninstall

### 6 【F9】 キーを押します。

### 7 管理者用スマートカードを抜いた後、ブロックを解除したいスマートカードを入れます。

次のメッセージが表示されます。

Enter the PUK:

### 8 ブロックを解除したいスマートカードの PUK を入力します。

正しく PUK を入力すると次のメッセージが表示されます。

PUK OK.

Enter the new PUK:

### 9 新しい PUK を入力します。

PUK を入力したら、次のメッセージが表示されます。

Confirm the new PUK:

## 10 再度 PUK を入力します。

正しく PUK を入力したら、次のメッセージが表示されます。

NEW PUK OK

Enter your new PIN:

## 11 新しい PIN を入力します。

PIN を入力したら、次のメッセージが表示されます。

Confirm your new PIN:

## 12 再度 PIN を入力します。

正しく PIN を入力すると、次のメッセージが表示されます。

Initialize another SmartCard or press ESC to abort.

F5=User, F6=SuperUser, F7=Admin, F8=Service, F9=Unblock F10=Uninstall

## 13 スマートカードを抜いた後、電源ボタンを押してワークステーションの電源を切ってください。

スマートカードのブロックが解除されました。

## ■ BIOS ロック機能設定のアンインストール

BIOS ロック機能を設定したパソコンの BIOS ロック機能をアンインストールします。

### 重要

- ▶ 一度グループ PC の設定をしたワークステーションで BIOS ロックをアンインストールすると、そのままでは再びグループ PC の設定をすることができません。再度グループ PC として設定するためには、修理（有償）が必要となりますので、ご注意ください。

### 1 BIOS ロック機能設定をアンインストールしたいパソコンを起動します。

CELSIUS ロゴ画面が表示された後、次のメッセージが表示されます。

Insert a SmartCard.

### 2 管理者 (Administrator) 用カードを挿入します。

次のメッセージが表示されます。

Enter your PIN:

### 3 PIN を入力します。

正しく PIN が入力されると、画面下に次のメッセージが表示されます。

F2=Setup, F3=Change PIN, F4=Administration

### POINT

- ▶ このメッセージは 3 秒ほどしか表示されません。表示が確認できず、システムが起動してしまった場合は、再起動し、確認してください。

### 4 【F4】 キーを押します。

次のメッセージが表示されます。

Enter the PUK:

### 5 挿入した管理者用カードの PUK を入力します。

正しく PUK が入力されると、次のメッセージが表示されます。

Initialize another SmartCard or press ESC to abort.

F5=User, F6=SuperUser, F7=Admin, F8=Service, F9=Unblock, F10=Uninstall

### 6 【F10】 キーを押します。

次のメッセージが表示されます。

WARNING! - This will uninstall security. ESC=Abort, F4=Uninstall

### 7 【F4】 キーを押します。

BIOS ロック機能設定がアンインストールされました。BIOS セットアップの「Security」－「SmartCard SystemLock」が自動的に「Disabled」に変更されます。

## ■ BIOS のメッセージ一覧

Insert a SmartCard.

- ・ スマートカードが挿入されていないときに表示されます。

ACCESS DENIED

NEW PUK FAILED

NEW PIN FAILED

- ・ 入力した PUK や PIN が間違っている場合に表示されます。

Non authorized SmartCard.

Remove the SmartCard.

- ・ BIOS ロック機能が設定されていないスマートカードやアクセス権がないスマートカード、PUK がブロックされたスマートカード、BIOS のログオン情報が登録されていないスマートカードを挿入した場合に表示されます。

Systemlock Installation FAILED

- ・ BIOS ロック機能の設定が正しく行われなかった場合に表示されます。

SystemLock

Boot access denied.

- ・ サービス (Service) 用スマートカードでシステムを起動しようとしたときに表示されます。サービス用スマートカードでは、システムの起動はできません。

WARNING! - Do not enter a wrong PIN or your SmartCard will be BLOCKED!

- ・ 間違った PUK または PIN が連続して 14 回入力されると表示されます。あと 1 回 PUK または PIN の入力を間違えると、そのスマートカードはブロックされます。

The SmartCard is blocked. Consult your administrator!

- ・ 間違った PUK または PIN が連続して 15 回入力されると表示されます。

Fujitsu SystemLock

ACCESS DENIED.

- ・ PIN がブロックされたスマートカードを挿入した場合に表示されます。PIN のブロックを解除する方法は、「設定変更」(→ P.19) をご覧ください。

System/Setup password active, system halted.

SystemLock installation FAILED

- ・ BIOS パスワードが設定されています。パスワードをアンインストールしてから、BIOS ロックの設定をしてください。

## 4 注意事項

---

- 本製品は、USB インターフェースを使用しております。  
本製品をご使用になる場合は、BIOS セットアップで USB コントローラを使用可能にしてください（初期値は使用可能になっております）。  
BIOS セットアップについては、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET (<http://www.fmworld.net/biz/>) 内の『CELSIUS マニュアル』を参照してください。
- 他の製品で作成した、拡張情報の多いスマートカードの読み取りを本製品で行うと、ごくまれにスマートカードの機能が停止する場合があります。  
このような場合、本ワークステーションを再起動してください。再起動後、本製品で作成したスマートカードをお使いになるか、拡張情報を減らした形式で作成し直したスマートカードをお使いください。
- Windows の終了や再起動の処理中、または省電力状態への移行中にスマートカードを抜いた場合、Windows の処理またはスマートカードのロック処理が途中で停止してしまうことがあります。Windows の各処理が終了した時点でスマートカードを抜いてください。
- 電源が切れていたり、スタンバイ状態または休止状態のときにスマートカードを挿入すると、ワークステーションの電源を入れたりレジュームさせることができます。  
ただし、次の場合はスマートカードを挿入しても、電源が入りません。
  - AC 電源を接続した直後（停電から復電した場合も含む）
  - BIOS ロックの設定メッセージ（例：“Enter your PIN:” など）が表示されているときに電源を切った場合（CELSIUS M420 のみ）
- 電源投入機能では IC チップの認証は行っておりません。  
OS ログオン時より認証確認が行われます。



---

**CELSIUS Workstation Series**  
**スマートカードリーダー／ライタ追加**  
**(CLC-SMA1 / CLC-SMA2)**  
**取扱説明書**

B5FH-7251-02-00

発行日 2003 年 10 月  
発行責任 富士通株式会社

---

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。